



現場の声から  
生まれました!

子どもの心を動かす

# ことばかけ

白井三根子 著



ナツメ社

## はじめに

45年前、保育者2年目の私は、園長先生に連れられていろいろな研修会に出席していたことを思い出します。当時の私は数々の研修会で学んだことや、園長先生の助言に支えられながら、日々の保育を夢中で行っていました。そう、私は新人保育者でありながら53名のクラスを受け持っていたのです。今では考えられない子どもの数ですね。けれども、なぜか「大変だった」という記憶はありません。それはきっと、毎日子どもたちと触れ合ううちに、子ども同士でできることが増えてきたり一人一人の育ちを感じたりする喜びのほうが大きかったからなのだと思います。

そんな私が、心に誓っていたことが一つあります。それは、めめ事が起きたとき、まず子どもの声に耳を傾け、ただたどし



いながらも一生懸命話してくれる子どものことばの意味を理解することでした。そうすることで、やった方、やられた方のどちらにも言い分があることがわかってきました。子どもが保育者に心を許し、安心して気持ちを話せるようになるには、まず保育者が子どもの立場にたったことばかけをし「話せば聞いてくれる」という信頼を得ることにつきますのです。

本書では、日々の保育でありがちな悩みと解決に導くことばかけを3段階のステップでまとめました。さらに私だったらどうするか、ということを考えて具体的なことばかけを4コマのマンガにしてみました。この本を手にとってくださった保育者の皆さんが、子どもたちの良き理解者になって頂けることを願っております。

白井三根子

第1章 園生活

- ケース01 毎朝、保護者と離れられず泣き続けるとき…………… 12
- ケース02 「おはよう」と声をかけても、挨拶ができないとき…………… 14
- ケース03 朝の点呼で返事ができないとき…………… 16
- ケース04 砂場やどろんこ遊びが苦手なとき…………… 18
- ケース05 遊んだものを片付けないとき 20
- ケース06 みんなと遊ぶのを嫌がり、一人で遊んでいるとき…………… 22
- ケース07 友達の遊びのじゃまばかりするとき…………… 24
- ケース08 製作活動をすぐに終わらせるとき…………… 26
- ケース09 友達の作品のまねばかりするとき…………… 28
- ケース10 製作物が時間内に終わらないとき…………… 30
- ケース11 大事な話を落ち着いて聞けないとき…………… 32
- ケース12 読み聞かせの途中で話しはじめるとき…………… 34

保護者の信頼を得ることばかけ①  
「うちの子、クラスでどうですか?」…………… 36

第2章 行事

- ケース01 入園式で保護者と離れられないとき… 38
- ケース02 保育参観に保護者が欠席したとき…………… 40
- ケース03 保育参観で保護者が気になりはしゃぐとき…………… 42
- ケース04 遠足を欠席した子に対応するとき…………… 44
- ケース05 運動会で負けてがっかりしているとき…………… 46
- ケース06 発表会で緊張しているとき… 48
- ケース07 発表会の練習に集中できないとき…………… 50
- ケース08 避難訓練のときにふざけてしまうとき…………… 52
- ケース09 クリスマス会で「サンタさんっていないいでしょ」と聞くととき.. 54

保護者の信頼を得ることばかけ②  
「運動会での失敗が怖くて園に行きたがりません」…………… 56



## 第3章 生活習慣

- ケース01 好き嫌いが多いとき..... 58
- ケース02 食事中におしゃべりばかりするとき..... 60
- ケース03 食事をきちんとかまないとき..... 62
- ケース04 マイペースでいつまでも食べているとき..... 64
- ケース05 食事の姿勢が悪いとき..... 66
- ケース06 友達の食事をほしがるとき... 68
- ケース07 トイレの失敗をいつまでも気にしているとき..... 70
- ケース08 トイレに行きたがらないとき 72
- ケース09 園のトイレを嫌がる時とき..... 74
- ケース10 おねしょをしてしまったとき.. 76
- ケース11 手洗いを適当に済ませてしまうとき... 78
- ケース12 手洗いやうがいのあと、水を出しっぱなしのとき..... 80
- ケース13 自分のものを決められた場所にしまえないとき..... 82
- ケース14 材料を無駄遣いするとき..... 84
- ケース15 共有のものを手荒に扱うとき 86
- ケース16 友達が使っているものを横取りするとき..... 88
- ケース17 共有のものをいつも独り占めするとき..... 90

保護者の信頼を得ることばかけ③  
「水道の水を飲ませたくないのですが」... 92

## 第4章 友達との関係で

- ケース01 友達に命令口調のとき..... 94
- ケース02 すぐに暴力をふるうとき..... 96
- ケース03 仲間はずれにするとき..... 98
- ケース04 トラブルを起こしても謝らないとき..... 100
- ケース05 仲良しの子を束縛するとき.. 102
- ケース06 友達の謝罪を受け入れられないとき..... 104
- ケース07 友達にけがをさせても気にしないとき..... 106
- ケース08 友達の失敗をからかうとき.. 108
- ケース09 自分の話ばかりをするとき... 110
- ケース10 一番になりたがり、ズルをするとき..... 112

保護者の信頼を得ることばかけ④  
「お友達とのけんかが不安です」..... 114





## 第5章 保育者との関係で

- ケース01 保育者の失敗を  
はやしたてるとき..... 116
- ケース02 「なんで結婚しないの?」と  
聞かれたとき..... 118
- ケース03 すぐに言いつけにくるとき.. 120
- ケース04 注意したら「不公平」と  
不満顔になったとき..... 122
- ケース05 他の子をほめると  
やきもちをやくとき..... 124
- ケース06 すぐに保育者を頼るとき..... 126
- ケース07 保護者と比べて  
文句を言うとき..... 128
- ケース08 保育者の評価を  
気にしすぎるとき..... 130
- ケース09 保育者によって  
態度が違うとき..... 132

保護者の信頼を得ることはかけ❻  
「風邪が心配で厚着させてます」..... 134

## 第6章 トラブルの場面で

- ケース01 見栄をはるとき..... 136
- ケース02 危ないことを繰り返すとき.. 138
- ケース03 必ず口答えするとき..... 140
- ケース04 持ってきてはいけないものを  
持ってくる時..... 142
- ケース05 友達の作品を  
壊してしまったとき..... 144
- ケース06 注意されたことをいつまでも  
ひきずっているとき..... 146
- ケース07 いつも口調が  
冷めているとき..... 148
- ケース08 気に入らないと  
物にあたるとき..... 150
- ケース09 道具を使って  
危ない行為をするとき..... 152
- ケース10 生き物の扱いが手荒なとき.. 154
- ケース11 保護者にうそをつくとき..... 156
- ケース12 忘れ物を  
いつまでも悔やむとき..... 158

# キーワードさくいん

## あ

挨拶……………14  
危ない……………138、152  
謝らない……………100

## い

言いつける……………120  
生き物……………154  
一番……………112

## う

うがい……………80  
うそをつく……………156  
運動会……………46

## え

園生活のマナー……………142  
遠足……………44  
園のトイレ……………74

## お

おしゃべり……………60  
おねしょ……………76

## か

片付け……………20  
からかう……………108

## き

共有……………86、90  
緊張……………48

## く

口答え……………140  
口調……………148  
悔やむ……………158  
繰り返す……………138  
クリスマス会……………54

## け

けがをさせる……………106  
結婚……………118  
欠席……………40、44

## こ

声をかける……………14

## さ

材料……………84  
作品を壊す……………144  
冷める……………148  
サンタ……………54

## し

姿勢……………66  
しまう……………82  
自分の話……………110  
謝罪……………104  
じゃま……………24  
集中……………50

## 食

食事……………60、62、64、66、68

## す

好き嫌い……………58  
砂場……………18  
ズルをする……………112

## せ

製作活動……………26  
製作物……………30

## そ

束縛……………102

## た

態度が違う……………132  
大事な話……………32  
頼る……………126

## て

手荒……………86、154  
手洗い……………78、80  
点呼……………16

## と

トイレ……………70、72、74  
友達のまね……………28  
トラブル……………100  
どろんこ……………18

## な

仲間はずれ……………98  
泣き続ける……………12

## に

入園式……………38

## は

はしゃぐ……………42  
発表会……………48、50  
はやしたてる……………116

## ひ

ひきずる……………146  
独り占め……………90  
一人で遊ぶ……………22  
避難訓練……………52  
評価……………130

## ふ

不公平……………122  
ふざける……………52  
不満顔……………122

## へ

返事……………16

## ほ

保育参観……………40、42  
暴力……………96  
保護者と比べる……………128

## ま

毎朝泣く……………12  
マイペース……………64

## み

見栄……………136  
水……………80

## む

無駄遣い……………84

## め

命令口調……………94

## も

物にあたる……………150  
文句を言う……………128

## や

やきもち……………124

## よ

横取り……………88  
読み聞かせ……………34

## わ

忘れ物……………158

45年かけて学んだ

# ベテラン保育者 ことばかけの技

会話は人と人がふれあう上で  
もっとも身近な手段。  
園生活でも同様で、子どもが  
のびのびとした環境で過ごす上で  
保育者のことばかけは大切です。  
ここでは、私が保育者としての  
経験のなかで学んだ、  
ことばかけのコツを5つに  
まとめてみました。

1

## コミュニケーションは 信じることから

子どもは、少ないボキャブラリーを使って、一生懸命に気持ちをことばにしようとします。ときには言いたいことがうまく伝わらず「それ本当?」「そうかな?」と聞きたくするようなことも。でも、考えてみてください。自分のことばを受け入れてくれない大人に、子どもは心を



開いてくれると思いますか? 子どもの気持ちに寄り添い「そうなの」「Aちゃんのお気持ちわかったよ」と受け止めることこそが信頼関係の第1歩。子どものことばの後ろにみえる気持ちを読み取ることが大切なのです。



## 保育者の「大丈夫」は 子どもが安心する薬

# 2

はじめての集団生活は、子どもにとって不安がいっぱい。保護者と離れることや友達とのやりとりなど、どうしてもいかわからず泣きたくなくなってしまうこともあるでしょう。そんなときに大切なのは、保育者のおおらかな対応と「大丈夫」ということば。人は失敗を繰り返して成長するのだから、どんどん失敗して、泣いたり悔しがったりすればよいのです。そういった意味でも保育者の「大丈夫」は、子どもの成長をゆつたりと包み込む魔法のことばなのです。



## 小さなことでも ことばにしてほめる

# 3

苦手なおかずを一口食べられた日や、スモッグのボタンを一つかけることができた日。「すごいね。人参を一口食べることができたね!」「自分でスモッグ着ることができたね! さすが!」とほめてもらえたら、子どもはどんなに嬉しいでしょう。また明日もがんばってみよう、という意欲につながることは言うまでもありません。子どもは毎日成長しています。保育者は、子どもが今日頑張ったことを見逃さず、どんなに小さなことでもことばにしてほめることを心がけましょう。



# ケース 01

## 毎朝、保護者と離れられず泣き続けるとき

毎朝、保護者と一緒に登園してくるA君。保育室に入るときに、保護者と離れられず泣き続けます。気持ちよく一日をスタートしてほしいのですが、どうすればいいでしょう。

### 子どもの行動



### 行動の理由

#### 保護者と離れるのが不安？ 甘えられる人がなくて不安？

園にいるよりも家庭にいるほうが欲求が通りやすいもの。好きなおもちゃで好きなだけ遊んだり、保護者に甘えられなくなることに不安を感じています。けれども園には園の良さがあるのも事実。保育者は、保護者と協力しながらA君が気持ちの切り替えができるような演出を心がけることがポイントです。

### これはNG

#### 「友達に笑われるよ」

A君自身の気持ちをさらに不安にさせてしまいます。プレッシャーをかけるのではなく、園生活に期待を持たせることを心がけます。

ベテラン  
の技

## 子どもの成長に気づかせる

STEP 1 今日の良い点を  
知らせるSTEP 2 昨日の自分を  
思い出させるSTEP 2 昨日のおにごっこ  
楽しかったねSTEP 3 今日楽しく  
遊ぼうねうまくいく  
指導のコツ少しの頑張りも認め、楽しい  
ことに期待が持てることばかけを

毎日泣いていても「昨日よりも今日のほうが泣いていないよ」と子どもの成長を認めることで、少しずつ自信を持てるようになります。気持ちが落ちついたところで「〇〇ちゃんが待ってるよ。一緒に遊ぼうよ」などと話し、クラスでの遊びに期待が持てるように導きます。

2歳児

3歳児には

十分な  
スキンシップを

低年齢児は、「そうね。ママが大好きだもんね」と子どもの気持ちに共感しながら、しっかりと抱きしめスキンシップをとります。保育者に気持ちが伝わったという安心感を持たせましょう。